

# たちばな信用金庫 SDGs 宣言

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1949年、諫早の地に諫早信用組合として誕生しました。1952年に改組し諫早信用金庫に、1999年には長崎信用金庫と合併したちばな信用金庫となり、一貫して地域の発展に取り組み、長崎県に本店を構える唯一の信用金庫として、日々の業務を営んでいます。

地域密着を掲げる信用金庫の「企業理念」は「SDGs」への取り組みと相通じるものがあります。たちばな信用金庫は、今後も地域経済の発展に持続して貢献するため「企業理念」の実践に取り組んでまいります。

### たちばな信用金庫企業理念

たちばな信用金庫は、庶民の金融機関としてその業務を通じ、中小企業の経営に協力し、庶民生活の健全化に資し、もって地域社会の発展に奉仕する。

### SDGs（持続可能な開発目標）とは

2000年9月に国連ミレニアムサミットで採択されたMDGs（ミレニアム開発目標）を継承し、2015年9月の国連総会で加盟国すべてが採択した2030年に向けた世界共通の具体的な行動指針です。持続可能な発展を実現するための17のゴールと169のターゲットがあり、「誰一人として取り残されない」をスローガンに、全世界で取り組むものとされています。日本では2016年5月に内閣総理大臣を本部長とする「SDGs 推進本部」が設立され、日本政府の取り組みがスタート。同年12月には「SDGs 実施指針」が公表されました。

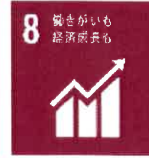
## SDGs 17のゴール



# たちばな信用金庫のSDGsへの取り組みについて

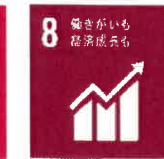
## 1. 中小企業の発展への貢献

- ・新現役（シニア）人材による事業支援
  - \*新現役（シニア人材）交流会
- ・新商品・サービスの開発支援
  - \*上場企業、大学、研究機関の開放特許等の知的財産活用によるマッチング
  - \*クラウドファンディングの活用
- ・企業課題解決支援
  - \*よろず支援拠点との連携 事業引継支援
- ・販路拡大支援
  - \*よい仕事おこしネットワークの活用およびしんきん合同商談会をはじめとした商談会への参加
- ・新規創業支援
  - \*トータルサポートプラン（日本政策金融公庫、長崎県信用保証協会との連携）
- ・若手経営者 企業後継者 女性経営者の育成支援
  - \*たちばな未来塾
- ・経営者の交流と知識向上支援
  - \*たちばなビジネスクラブ未来 各種セミナー



## 2. 健全な社会生活の維持

- ・環境に負荷をかけない店舗作り
  - \*ペーパーレスの推進など環境に配慮
  - \*LED照明の導入による省電力化
- ・地域の環境美化活動
- ・子育て応援商品の企画販売
  - \*教育ローン 教育カードローン
- ・すべての子どもたちへの学びの場の確保と提供
  - \*教育ボランティアへの支援
  - \*職場体験学習の受入
- ・相談会の開催
  - \*相続・遺言相談会（長崎県弁護士会との連携）
- ・地域で働く人への支援
  - \*たちばなパートナーズ協定
- ・園児対象の交通安全教室の実施
- ・安心できる老後生活の支援
  - \*年金アドバイザーによる年金受給の支援
- ・地域医療の支援
  - \*献血
  - \*しんきんメディカルアシストプロジェクト 信金deサポート（長崎県保険医協会との連携）



## 3. 地域社会発展への奉仕

- ・地域企業の社会貢献支援
  - \*SDGs 私募債の取り扱い
- ・地域のイベント・スポーツ・文化活動への支援
  - \*のんのこ諫早まつり、長崎くんちをはじめとした各地域の祭りへの参加
  - \*諫早雲仙ウルトラウォーキングへのボランティア派遣
  - \*いさはやレディスロードレースへの協賛
  - \*市民スポーツ競技会への参加
  - \*諫早文化会館のシートカバーの提供
- ・地域情報の発信
  - \*フェイスブックからの情報発信
- ・長崎県への来訪者の誘致
  - \*他地方からの観光旅行等による来訪者の誘致（長崎県観光連盟との連携）
- ・性別、ハンディに関係なく、健全に活躍できる企業風土作り
  - \*くるみん認定企業 ハンディがある方の雇用 女性管理職の育成 健康企業宣言

